

お金持ちの私

張博文
ZHANG BOWEN

色々な「5円」を集めた私は、だんだんお金持ちになっていきました。

家族がくれた深い絆の「5円」、私はもらいました。「家は、生きる場所」。私は常に楽しかった子ども時代を思い出します。私が宿題をサボって、母と一緒にドラマを見た時、母は、「ちょっと休憩してから勉強に戻りましょう。」を言いながら、私にお茶を一杯注いでくれました。あの時の母の明るい笑顔、今も忘れられません。そして、父が週末にゆっくりとお掃除のシーン、姉が朝髪を梳いて学校に行く準備をしていた記憶... これらはすべて私の心を温めています。私はもう大人になりました。「家族の皆さんを見守るために、もっと頑張らないといけない」このようなやる気は、私の幸福な理由になりました。

友達がくれた愛情の「5円」、私はもらいました。忙しい生活を送っていますが、毎日寝る前に、友達と話し合うと落ち着くになります。「寝る前の電話」は、私の最高の癒やし習慣になりました。「大好きなあなたが幸せでありますように」。

知らない方がくれた温もりの「5円」、私はもらいました。日本に来たばかりの頃、名前が特別だと思って遠く離れた神社に行きましたが、その時は福岡に住んでいました。それは私設神社で、おじいさんがいます。私は家族に健康御守を選びました。「これはいくらですか。」「700円です。」私は小銭を用意していたところへ、おじいさんが「どこの国の人ですか。」と聞きました。「中国人です。福岡から来ました。」「へえ、中国人の方

ですね。福岡からですか。珍しいですね。」おじいさんは少し考えたようですが、「じゃ、お金いらない。お持ち帰りください。」「ああ、大丈夫ですか。」私は恥ずかしくなりました。「大丈夫ですよ。どうぞ、どうぞ。」「ありがとうございます!」「お元気で。」その時は、持つのは軽い御守りですが、重い恩恵を感じました。おじいさんの私が角を曲って見えなくなるまで見送ってくれた姿を見て、感動して涙が出ました。

日本がくれたチャレンジの「5円」、私はもらいました。「あなたに出会ったいたずらが私のすべてを変えてゆく。」日本に来て二年が経ちました。その二年の間に、様々な人々に出会って、いろいろな面白さを体験しました。日本がくれたチャレンジ・ショック・成長は、一生忘れません。この経験があれば、今後の人生に、私はどのような困難に直面しても克服できると信じています。

地球がくれた生命の「5円」、私はもらいました。この美しい人間に出会うのはありがたいことです。それゆえ、私は、この世界中に、毎日、一生懸命で真面目に生きていきたいと思います。

一枚の5円硬貨はほとんど何も買えないでしょう。だが、あなたたちがくれた「5円」は、「愛」です、「情」です、「ご縁」です。ですから、私は今超お金持ちになりました!無価の宝をいただいて、本当にありがとうございます。